

こんにちわ・ニーハオ・シン チャオ みんな笑顔で支えあうまち

地域で声かけ、支えあえる団地を目指して

いちよう団地地区のめざすまち (6年後のまちの姿)

みんなが地域を知り、
みんなで支えあって
いるまち

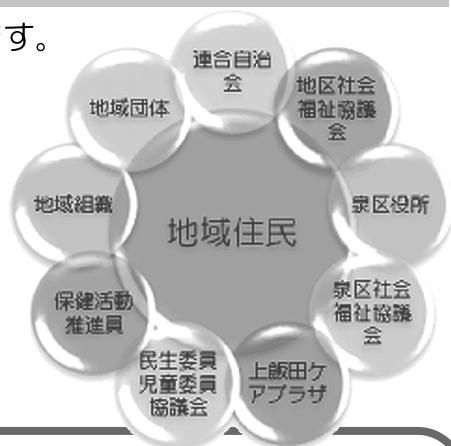
みんなが活動の場に
参加でき、担い手が
充実したまち

みんなの文化
(多文化)が自然に
共生しているまち

第2期計画（平成22～27年度）では、こんなことに取り組みます。

【目標1】 みんなが地域を知り、みんなで支えあっているまち (具体的取り組み)

- 住民・団体：地区内の安否確認調査などを活用しながら、こどもから高齢者、障がいのある方の見守り活動に取り組みます。
- 区役所：地域の関係者と連携してネットワーク作りを支援します。
- 区社協：地域の見守りネットワークづくりと広報に協力し、助成などを通じて活動を支援します。
- ケアプラザ：地域の見守りネットワークづくりを支援します。



【目標2】 みんなが活動に参加でき、担い手が充実したまち (具体的取り組み)

- 住民・団体：活動希望者と地域活動団体を結びつけ、参加者、担い手を増やすとともに、地域活動団体の紹介や団体の相互連携に取り組み、活動内容の充実を図ります。
- 区役所：活動のPRや担い手の育成を支援します。
- 区社協：広報や担い手の発掘、育成を支援します。
- ケアプラザ：地区の情報収集や提供などを通じて活動団体の連携を支援します。

【目標3】 みんなの文化（多文化）が自然に共生しているまち (具体的取り組み)

- 住民・団体：①地域の中で、通訳・翻訳ができる人材を育成し、活用するしくみを作り、外国につながる人達のため、日本語や日本の習慣を学ぶ場、互いの文化を知り合うためのイベント等を充実させます。
② 多文化共生交流会や、子育てサロン等の憩いの場を利用し、日常的な交流を進めます。
- 区役所：活動の継続を支援します。 ■ 区社協：広報や助成などを通じて活動を支援します。
- ケアプラザ：地区の情報の収集や提供などを支援します。



【策定】
いちよう団地地域福祉保健
計画策定委員会

【事務局】
 泉区福祉保健センター
 TEL800-2400
 FAX800-2513

泉区社会福祉協議会
 TEL802-2150
 FAX804-6042

上飯田地域ケアプラザ
 TEL802-8200
 FAX802-6800

いちょう団地地区ってこんなまち！！

- 県営住宅 48 棟より形成
- 1 人暮らしの方や障がいのある方や外国人など 様々な支援を必要とする世帯が多い。
- 外国人も参加できるイベントやお祭りをおこなっています。

私たちのまち いちょう団地

人口(平成 21 年2月) 4876 人
 高齢者世帯 65 歳以上 1805 世帯
 高齢者のみ世帯 (454 世帯)
 外国籍等世帯 400 世帯 1277 人
 (外国比 26.19%)

いちょう団地地区の皆さんの声 (これまでの成果と課題)

声かけや明るいあいさつができるようになりました

- 声かけが防犯・防災につながった。
- 大人も子どもも親しみができた。
- 一人暮らしの人への声かけができた。
- お年寄りが元気にいきいきとなった。
- 多言語のあいさつが広がった。
- 元気に明るくあいさつする人が増えた。
- 自分からあいさつする人が増えた。
- いちょう小学校見守り隊ができ、交流が進んだ。



ふれあいの場が多くでき、多くの方が参加されました

- 多世代の交流ができた。
- お世話役の人もでてきた。
- 新しい活動も増えた。
- お年寄りの集まる場が増えた。

まちがきれいになりました

- ゴミのことを気軽に聞けるようになった。
- いちょう団地がきれいになった。
- ゴミが少なくなり、明るいまちになった。
- ゴミ置場の住民理解がすすんだ。
- 小学生・お年寄りがゴミ拾いに参加。
- ゴミの分別がよくなった。
- 自主的に棟の掃除をする人が増えている。

いろいろな国籍の方との交流が増えました

- 多文化の取り組みが地域に浸透してきた。
- 地域の行事にいろいろな国籍の方が参加。会話が弾んできた。
- 外国籍の人たちも力仕事や大掃除に協力するようになった。
- 小学生との交流が進んだ。

こどもの安全やいきいき活動への取り組みがすすみました

- 通学路の見守りなど安全への取り組みが進んだ。
- 子どももお年寄りも交流を通じていきいきしてきた。

こんな課題も・・・

- 活動の担い手をもっとほしい。
- 様々な活動をもっと周知し、知り合いたい。

第 1 期計画 (平成 17~21 年度) に取り組んだこと (4 年間の成果)

